

2008年岩手・宮城内陸地震に伴う災害被害状況等

平成20年7月9日14:00現在  
岩手県総合防災室  
(総合防災室 内線5162)

○災害被害状況

区 分		数 量 ・ 被 害 額				担 当 部 課 等		
人的被害	死者	2				人	地域福祉課(内線 5421)	
	重傷者	9				人		
	軽傷者	28				人		
住家被害	全壊	1	棟	1	世帯			千円
	半壊	4	棟	4	世帯			千円
	一部破損	427	棟	370	世帯	102,384		千円
	床上浸水		棟		世帯			千円
	床下浸水		棟		世帯			千円
	計	432	棟	375	世帯			102,384 千円
非住家被害		75	棟			40,473		千円
農業関係被害	農業施設	63	件			223,927	千円	
	農作物等	87.1	ha			19,211	千円	
	畜産関係		kg	4	頭羽	323	千円	
	農地農業用施設	801	箇所			2,117,000	千円	
	計					2,360,461	千円	
林業関係被害	林業施設被害	303	箇所			1,424,533	千円	
	林産物被害					32,450	千円	
	森林被害	64.3	ha			106,181	千円	
	林野荒廃	47	箇所			7,065,813	千円	
	計					8,628,977	千円	
水産関係被害	水産施設		箇所				千円	
	漁船		隻				千円	
	漁具		箇所				千円	
	養殖施設		台				千円	
	水産物		kg			1,000	千円	
	計					1,000	千円	
漁港関係被害	調査率 100%		箇所				千円	
土木施設被害	河川	42	箇所			1,420,000	千円	
	道路	341	箇所			11,103,300	千円	
	橋梁	37	箇所			3,314,000	千円	
	砂防	5	箇所			577,000	千円	
	公園	1	箇所			2,000	千円	
	海岸		箇所				千円	
	港湾		箇所				千円	
	下水道	3	箇所			110,400	千円	
	計	429	箇所			16,526,700	千円	
学校等被害	155	校			238,425	千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)	
消防施設被害	7	箇所			2,142	千円	総合防災室(内線 5156)	
庁舎等被害					10,467	千円	総務室(内線 5032)他	
社会教育・体育・文化施設被害					406,910	千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)	
社会福祉施設被害					11,811	千円	保健福祉企画室(内線 5409)	
観光施設被害	37	箇所			856,863	千円	商工企画室(内線 5528)・環境生活企画室(内線 5327)	

医療衛生施設被害	上水道	13 箇所	38,757 千円	環境生活企画室(内線 5327)	
	簡易水道	21 箇所	186,490 千円		
	医療施設	16 箇所	55,023 千円		医療国保課(内線 5427)・医療局
	衛生施設	2 箇所	550 千円		環境生活企画室(内線 5327)
	計	52 箇所	280,820 千円		
商工関係被害	商業関係	185 箇所	107,579 千円	商工企画室(内線 5528)	
	工業関係	125 箇所	119,207 千円		
	計		226,786 千円		
文化財関係被害	41 箇所	12,520 千円	教育委員会事務局教育企画室(内線 6108)		
電力関係被害		51,630 千円	環境生活企画室(内線 5327)・企業局		
鉄道関係被害			地域企画室(内線 5203)		
高圧ガス施設等被害			総合防災室(内線 5556)		
公営住宅等被害			県土整備企画室(内線 5850)		
船舶被害		隻	総合防災室(内線 5153)		
工業用水道被害			企業局経営総務室(内線 6379)		
鉄道関係被害			地域企画室(内線 5203)		
通信関係被害			地域企画室(内線 5203)		
(予備 1)			千円		
(予備 2)			千円		
(予備 3)			千円		
計			29,758,369 千円		

○ 住民等の被害

- (1) 人的被害 : 死亡2名、負傷37名
- ・奥州市 死亡 1名、負傷32名
  - ・一関市 死亡 1名、負傷 2名
  - ・藤沢町 負傷 1名
  - ・平泉町 負傷 1名
  - ・花巻市 負傷 1名

(2) 住家被害

市町村	被害棟数	被害状況
奥州市	206棟	半壊(2)、一部損壊(204)
一関市	182棟	全壊(1)、半壊(2)、一部損壊(179)
花巻市	3棟	一部損壊(3)
金ヶ崎町	25棟	一部損壊(25)
平泉町	<b>7棟</b>	一部損壊( <b>7</b> )
北上市	3棟	一部損壊(3)
西和賀町	6棟	一部損壊(6)
合計	<b>432棟</b>	

※ 平泉町において家屋調査をした結果、一部損壊が2棟増加したものの。

○ 避難の状況

区分	避難勧告実施		自主避難		避難施設
	世帯数	人員	世帯数	人員	
奥州市	2	4	9	18	
避難所	1	1			高齢者生活支援ハウス
親戚宅等			4	9	衣川荘
その他の施設	1	3	5	9	民間賃貸住宅(個人で借受け)
一関市	23	69			
避難所	10	43			巖美公民館山谷分館※
親戚宅等	13	26			
計	25	73	9	18	

※ 6月25日12:00に、本寺小学校体育館から巖美公民館山谷分館に避難先を変更完了

○ 各部局における対応状況の特記事項【平成20年7月9日14時現在】

部 局 名	部局における対応状況
環境生活部 (環境生活企画室) 内線 5327	現在、未復旧となっているのは、一関巖美・萩荘簡易水道の26戸のみとなっている。 (断水世帯住民は避難所等へ避難中)
保健福祉部 (保健福祉企画室) 内線 5409	<p>【災害救助法による救助に関する事務の一関市長及び奥州市長への委任期間の延長】</p> 災害救助法を適用していた5市町のうち、奥州市及び一関市については、避難所の供与等について、引き続き救助を行う必要があるため、両市長への委任期間を30日間延長することとした。 <p>【被災地住民の「こころのケア」について】</p> 被災地住民を対象とする健康被害の悉皆調査の結果を踏まえて、7月中旬を目途に保健所、精神保健福祉センター、地元市や医師会及び医療機関等で構成される「一関地域被災者こころのケア対策会議」及び「奥州地域被災者こころのケア対策会議」を設置し、ハイリスク者の選定や支援計画の作成、支援方策の検討を行い、長期的スパンに立った支援を行っていく。
商工労働観光部 (商工企画室) 内線 5527	<p>【観光施設】</p> ○旅館・ホテル等の営業休止の状況 ①須川温泉(一関市) ②真湯山荘(一関市) ③祭時温泉「かみくら」(一関市) ④ひめかゆ温泉「クアパークひめかゆ」(奥州市)※営業再開は8月頃の予定 以上の施設以外は、通常営業中である。 <p>【地震被害対策】</p> 1 中小企業者等への相談窓口の設置(6月16日～ ) 地震で被災された中小企業者の復旧・復興を支援するため、県庁経営支援課、県南広域振興局、関係機関(商工会議所、商工会等)に相談窓口を設置し、相談業務を行っている。                     2 金融支援 風評被害等により経営が不安定な中小企業者に対して、「中小企業安定資金」などの利用を進めるとともに、災害救助法の適用を受けた市町村区域において、罹災した中小企業者が利用できる低利の「中小企業災害復旧資金」(6月補正予算)について、7月8日から取扱いを開始した。                     3 観光施設等に対する風評被害対策 岩手県ホームページのトップページに「観光施設等の営業状況」等などの最新情報を掲載している岩手県観光ポータルサイト「岩手の旅」へのリンクを設定するとともに、全国規模のイベントの場において正確な情報提供を行っている。

<p>農林水産部 〔農林水産企画室〕 内線 5621</p>	<p>1 農作物(農家等支援)関係  (1) 農業改良普及センターによる農家への個別巡回や、緊急技術情報の配布などによる水田の漏水防止、節水対策等の技術指導の実施  (2) 農林漁業金融公庫等金融機関に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等の協力要請  (3) 県南広域局及び一関支局への融資相談窓口の設置、災害対応資金の周知  (4) 各農業共済組合に対する共済金の早期支払い等の実施要請  (5) 水田経営所得安定対策の手續期限の延長等、国の特例措置の実施</p> <p>2 農地・農業用施設関係  (1) かんがい不能な水田に対するポンプ設置等による応急措置の実施  (2) 取水量が減少しているかんがい区域では、輪番による通水で対応  (3) 復旧予算の編成(6月補正、団体営農地等災害復旧事業等638,935千円)  (4) 被害状況調査や復旧計画策定等のため、農業土木技術職員を一関市、奥州市へ派遣</p> <p>3 農業復興支援体制の整備  奥州及び一関地域に農業改良普及センターを主体とした「農業復興支援チーム」を設置し、地域の農業の復旧と新たな産地づくりなど、地域農業の復興に向けた支援活動を展開</p> <p>4 林業関係  【林地崩壊】  (1) 国による直轄地すべり防止対策関連緊急事業(一関市市野々原地区)、災害関連緊急治山事業(一関市巖美町、奥州市衣川区)等の復旧事業の実施決定  【7月4日】  新たに、奥州市衣川区(1地区)で災害関連緊急治山事業(国庫補助事業)の実施が決定(事業費1.4億円)され、本県が要望していた8地区全てが採択となった。(一関市巖美町(6地区)、奥州市衣川区(1地区)(事業費16.1億円)は、6月27日に決定済み)  (2) 復旧予算の編成(6月補正、治山事業費等2,190,502千円)  (3) 二次災害防止のための崩落地への土石流センサー等の設置(土石流センサー:国、県11箇所)  【林業施設】  復旧予算の編成(6月補正、治山災害復旧事業57,222千円)  【林産物】  菌床しいたけ栽培農家に対する技術緊急情報の発行等による適正な温度管理等の技術指導の実施</p>
<p>県土整備部 〔県土整備企画室〕 内線 5846</p>	<p>【道路】  ○全面通行止め 5路線5区間  【国道342号】一関市巖美町天王～須川温泉(土砂崩落、落橋-祭時大橋)  【国道397号】奥州市胆沢区若柳字市野々～秋田県境(法面崩壊)  【主要地方道花巻衣川線】奥州市衣川区大平(法面崩壊)  【主要地方道栗駒衣川線】奥州市衣川区餅転橋(路面損傷)  【一般県道衣川水沢線】奥州市胆沢区大袋(路面陥没)  ○片側交互通行 4路線5区間  【国道107号】西和賀町ゆだ高原駅前近(路面沈下)  【主要地方道花巻衣川線】奥州市衣川区小田(路面損傷)  奥州市胆沢区下鹿合(路面損傷)  【主要地方道盛岡横手線】雫石町南畑～西和賀町沢内川舟(土砂崩落)  【一般県道夏油温泉江釣子線】北上市和賀町内鱒沢(法面崩壊)</p> <p>【河川・砂防】  磐井川[市野々原地区]… 7月5日仮排水路断面拡大掘削完了・通水開始</p> <p>【住宅】  ○応急仮設住宅の着工について  奥州市の要請を受け7月11日から応急仮設住宅の建設に着手。  ・胆沢地区…4戸  ・石生地区…4戸</p> <p>○住宅相談窓口の設置等住宅情報提供  6月19日より今回の地震に対応した住宅相談窓口を6箇所設置。  〔 県南局土木部、一関局土木部、北上局土木部、建築住宅課 〕  県民住宅プラザ(盛岡・水沢)</p> <p>○7月1日から被災住宅の現場で住宅相談に応じる専門家派遣制度を開始。  ○現地における行政や専門家による特別住宅相談会を開催(予定)  ・一関市 7月11日(金)10:00～16:00 巖美公民館  7月25日(火)10:00～16:00 一関市庁舎  ・奥州市 7月15日(火)10:00～16:00 衣川総合支所  7月16日(水)10:00～16:00 胆沢愛宕農業者トレーニングセンター</p>